

3年 「図画工作」の学習

3年生では、こんな学習をします。

*学習の目標

- (1) 豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに興味をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力を伸ばすようにする。
- (3) 自分たちの作品や身近のある作品、材料のよさや美しさなどに興味を持って見るとともに、それらに対する感覚を高めるようにする。

授業の工夫

児童が『自分の力でのびのびと』想像力を働かせて造形活動に取り組む楽しさを実感するような授業を心がけていきたいと思います。
 そのために、次のことをしていきたいと思います。

- ・自分の思いをもとに構想を立てて表現する能力の育成
- ・表したいものの形や色を考えて表現する能力の育成
- ・自分の発想をふくらませて表現する能力の育成

中学年の図画工作では、材料とのかかわりの中で、自分らしい見方や表し方、デザインなどを工夫して表現する楽しさや見る楽しさを味わわせるとともに、造型的な創造活動への意欲と表現力を育てていきたいと思います。

年間の学習計画

前 期		時間	発展・補充	5	発展・補充	4	
単 元 ・ 題 材	1	2	きせつの中で	5	ふわふわゴージャス	4	
	2	4	くっつけくっつけ	2	ひろがれ	4	
	3	4			いきものワールド		
	4	6			みんなでつくろう	6	
	5	1			ゆめの町		
				後 期	時間		
			7	心キラリ	6	切って切って	4
			8	だんボールの へんしん	6	トントントン	
			9	そのときの気持ちを 大切に	6		

評価の観点

- [造形への関心・意欲・態度]
自分の思いを表す体験を深めることに興味をもつことやつくったものなどに興味をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとすることができる。
- [発想や構想の能力]
見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりすることができる。
- [創造的な技能]
手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながらつくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫することができる。
- [鑑賞の能力]
自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに興味をもって見るすることができる。

評価の方法

- < 表現 >
 - ・活動中の態度
 - ・活動の内容
- < 鑑賞 >
 - ・自己評価カード
 - ・表現や鑑賞カード
 などを総合的に評価します。